

基準10 教育情報等の公表

	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
平成25年度	◎ 企業との共同研究、企業における研究開発、技術相談等に役立てる目的で平易でわかりやすい研究シーズ集を発行している。（室蘭工）		
	◎ 教育に関する情報提供の場として、「弘前大学教育情報」ウェブサイトを開設し、入学者受入方針、教育課程の編成・実施方針、学位授与方針、シラバス、教育者総覧、F D活動等教育に関する情報を分かりやすく集約し、公表している。（弘前）		
	○ キャッチ・コピーを活用した広報や大学紹介テレビ番組「ガンダイニング」を通して、大学の活動を地域社会へ浸透させる努力を継続している。（岩手）		
		○ 大学ウェブサイトにおける英語版のコンテンツを更に充実することが期待される。（秋田）	
			◎ 各専攻の情報が各基盤機関のウェブサイトに分散しており、大学全体として体系的に集約されているとは言い難い。（総合研究）
平成26年度	○ ウェブサイトのスマートフォンへの対応、学外のソーシャル・ネットワーキング・サイトの活用、標準化された方式による公開講座の動画配信等によって、多様なメディアが活用され、情報発信が行われている。（名古屋）		
	◎ 教育研究活動を紹介するレギュラーＴＶ番組（月に１回程度）を放送しており、地域社会への積極的な情報発信を行っている。（三重）		
	◎ ステークホルダーの関心が高い学位授与状況、卒業（修了）生の進路、外部資金獲得状況等の教育研究情報のデータをグラフ化して、経年変化を含めた「見える化」を行い、「神戸大学データ資料集－データと資料が語る神戸大学の今の姿－」としてまとめて、大学ウェブサイトに掲載している。（神戸）		
			◎ 大学ウェブサイトで公表されている情報の中で、教員が有する学位について記載されていない事例が多数見受けられる。（鳥取）
	○ ウェブサイトのリニューアル、ユーザビリティの改善、公表情報の充実を進め、「全国大学サイト・ユーザビリティ調査」で、高い評価を受けている。また、ソーシャル・ネットワーキング・サイトを平成24年から利用開始し、動画配信を充実させるなど、インターネット社会における情報の公開・周知を高いレベルで実施している。（岡山）		
	○ 大学憲章等については、ウェブサイト上に丁寧に公表説明されており、また、大学概要の体裁は比較的ビジュアルに簡潔な説明であり、適確な情報発信に努めている。（愛媛） ◎ 当該大学の教育研究活動を学生目線で紹介する映像「アイダイ日記」のダイジェスト版を英語、中国語、韓国語で公開している。（愛媛） ◎ ミュージアム（大学博物館）等において、教育研究活動の成果を積極的に公開・発信している。（愛媛）		
	◎ 大学の教育・研究・地域貢献等の取組、地域への広報活動の一環として、ラジオ番組「THE こうちユニバーシティ CLUB」及び「気になる健康ファミリードクター」による情報発信を行っている。（高知）		
平成27年度	◎ 英語、中国語、韓国語によるウェブサイトを作成・公表し、グローバル化に対応した海外への情報発信を進めている。（茨城）		
	◎ 英語、中国語、韓国語によるウェブサイトを作成・公表し、グローバル化に対応した海外への情報発信を進めている。（大阪）		○ 研究者総覧については、一部の教員の研究業績等の入力が十分とはいえない。（大阪）
	◎ 学内の研究ニーズ・シーズの発掘や情報共有及び学外に向けて研究シーズを分かりやすく紹介する「研究見本市」のページを開設し、研究活動の活性化と共同研究の推進を図っている。（島根）		
	◎ 平成23年８月から「佐賀大学の取り組み」として特色ある教育研究等の取組成果を積極的に学内から情報収集して大学概要及び大学ウェブサイトで社会に対して分かりやすく発信している。（佐賀）		
	◎ 在学生が出身高等学校を訪問し、後輩の高校生に所属学部の様子を伝え、進路選択に役立ててもらうことや高等学校との連携を深めることを目的とするキャンパス大使として、平成26年度には23の高等学校に34人を派遣している。（大分）		
	◎ 市民を対象としたオープンキャンパスや東京等で開催しているフォーラム等、多様な方策で積極的に情報発信を行っている。（奈良先端科学技術大学院）		

基準10 教育情報等の公表

	○ 法人化後に積極的に進めてきた大学改革について実際に改革を担当した教職員が共著で書籍『シリーズ北九大の挑戦』に取りまとめ、学内外に発信している。（北九州市立）		
平成28年度	◎ 教育研究活動の成果を、「お茶の水女子大学教育・研究成果コレクション（TeaPot）」やこれを活用した「お茶の水女子大学 E-book サービス」及び「お茶の水女子大学デジタルアーカイブズ」により効果的に公表している。（お茶の水女子）		
	◎ 大学ウェブサイトのユーザビリティの改善、公表情報の充実を進め、高い評価を受けている。また、『データで見る公立大学法人大阪府立大学』や『Financial Report』を年度ごとに作成し、分かりやすく情報を公表している。（大阪府立）		
	◎ 平成25年度に教職員の行動指針及び建学の精神等を記載したクレドカード（『U I（University Identity）マニュアル』）を作成し、教職員へ常時携帯させている。（福岡女子）		